

オンラインによる市長とのタウンミーティングで出された意見・要望(当日要旨)【令和3年12月19日開催】

NO	項目	内 容	市長の回答	想定担当課
1	新型コロナワクチン接種	小学5年生です。来年コロナワクチンを接種することになりますが、不安です。	副反応への不安があると思います。接種は、リスクと予防効果等などから、保護者の方などと相談して決めてほしいと思っています。副反応など何か問題等が起これば、医療機関などと連携しながら、市も対応します。専門的なことを調べる際は、保健所(大阪府が設置しているコールセンター)または保健センターにご連絡ください。	健康づくり推進室
2	コロナによるオンライン化	コロナの影響で社会不安に陥ったが、オンラインでいろいろできることが増えてきてよかった。	日本は諸外国に比べ、IT化が遅れていたが、コロナの問題で、AI、RPAなどが一気に進みました。現在、和泉市では、各学校でGIGAスクール構想により1人1台のPC端末を持つことが当初の予定より2～3年早く進みました。今後もリモートワークなどIT化が進んでいくと思います。	・政策企画室 ・学校教育室
3	横断歩道(その1)	日々道路横断に活用していた府道の横断歩道(和気町4丁目の和気東郵便局付近)が、今年の8月末頃突然に道路一部舗装後に復旧もされず無くなってしまいました。近隣の市民への広報連絡等は何もありません。そもそも、この横断歩道は過去37年前に、この場所で横断者死亡事故があり和泉市役所への陳情により安全対策として設けられたもので、その後は近隣の皆様が安全な横断に活用していたものです。市民の交通安全を守るためにも、横断歩道を元通りに復活してほしい。	私もその横断歩道は認識しています。今、和泉市は交通量が増えている、地元・PTAから、和気小学校前の横断歩道に対し、信号機の設置要望が府警察署に提出されました。協議の結果、信号の設置は困難だが、安全対策として、横断歩道の手前にカラーラインを設置することになり、当該横断歩道を撤去せざるを得なかったものです。	都市政策室
4	横断歩道(その2)	地元で撤去対応を協議されなかったと認識しています。横断歩道がないと車は止まりません。もし、事故がおこってしまったらと思います。また、岸和田南海線の横断歩道に行こうとしても、歩道が途切れている。何かいい方法はないですか。	和泉警察署に確認したところ、郵便局側の横断歩道の消去は、地域住民への影響が考えられたため、和泉警察署としてPTA・町会に説明・了承を得たうえで実施したものと聞いています。また、付近の途切れている歩道の改良は、大阪府と協議し、努力していきたいと思っています。	都市政策室
5	道路	大阪岸和田南海線のつきあたりについて、道が出来ているにも関わらず、通行止めになっている。それにより、その近くの細い道路に車がよく入っているの、通行止めを解除すれば、車がスムーズに行くのではないか。	府が整備している道路ですが、まだ工事の途中です。通行止めに関しては、全区間が完了する前に完了した部分を開放すると、既存の道路が大阪岸和田南海線の交通量を受け入れられないことから、全区間の工事が完了するまでは通行止めと聞いています。また、横の農道は、畑の利用者が利用していると聞いています。	都市整備室
6	小学校の授業	(小学校の)パソコンだけで行う授業はいつになるのですか。	小学校では、PC端末を用い、モニター・黒板なども共用し、様々な手段で授業を行っています。パソコンだけで行う授業の実施については、進んでいくと思いますが、すべてがパソコンに置き換わるわけではなく、紙媒体等も併用しながら子どもたちの学力向上に取り組んでいきます。	学校教育室